

令和元年度 沿岸環境検討会での意見対応について

令和2年9月10日



国土交通省 出雲河川事務所

令和元年度 沿岸環境検討会での意見対応について

令和元年度の沿岸環境検討会において種々のご意見を頂いたところであるが、主な意見への対応について以下のとおり整理した。

委員名	意見の概要	対応
杢見委員	林②地区は漂砂対策のため、突堤の形状を工夫してほしい。	林②地区については、設計段階において委員へ漂砂対策に関する相談を実施し、計画に反映した。
中村委員	漂砂対策については、事前に相談してほしい。	
佐藤委員	浅場造成による鳥類への効果を把握するため、浅場整備前後の鳥類調査を行ってほしい。未整備箇所と浅場整備箇所との比較によっても効果を把握できると思う。冬鳥に対しては特に北岸において効果が見られる。	浅場整備による鳥類への効果を把握するため、北岸の浜佐田地区にて、冬季における事前・事後調査を実施した。北岸の美野地区について、H30に夏季、秋季、冬季の3回の事前調査を実施。施工後調査を実施予定。
杢見委員	新生堆積物調査については、モニタリングの期間を延長してはどうか。	米子湾の新生堆積物調査について、R元年度継続調査を実施し、調査結果をまとめた。また、令和2年度も調査を実施した。継続の可否について意見を伺いたい。
杢見委員	大垣③地区は、基盤の状況を目視で確認することでよいかと思う。	過去年度調査と同様に今年も夏季（7～8月）に目視確認を実施する。